



まずは抽選順序を決める予備抽選から

上位5チームに絞られいよいよ本抽選に

ハラハラ ドキドキの 抽選会

セーフティ300事業

2月17日セーフティ300事業の抽選会がコミュニティセンターで行われ、無事故・無違反を達成したチームの代表者が100万円を目指して抽選に挑みました。

【関連記事2～5ページ】

セーフティ300事業の100万円の栄冠は…

本町納税組合Aチームに

チームの代表者が自ら抽選

昨年四月六日から今年一月三十日までの三百日間展開した「セーフティ300事業」の報償金百万円贈呈チームを選ぶ抽選会が二月十七日コミュニティセンターで開かれ、抽選の結果「本町納税組合Aチーム」に百万円が贈られることになりました。

「本町納税組合Aチーム」の代表安保静雄さん(相内)が見事一番くじを引き当て百万円の権利を獲得しました。

百万円の栄冠を獲得した安保さんは「抽選には百万円を当てようと強気で臨んだ。チームのみんなにいい報告ができます。

抽選は、無事故・無違反を達成したチームの代表者が直接抽選機を回して行われ、まず、上位十チームに絞り込む抽選、その中からさらに上位五チームに絞り込むための抽選と、二回の予備抽選が行われ、会場からは抽選機を回すことに歓声が上がっていました。

盛り上がりを見せたのは、上位五チームによる最終抽選。結果は三番目に抽選機を回した

▶見事一番くじを引き当てた、安保静雄さん



本町納税組合 Aチーム

メンバー

代表 雄治也 市明雄 弥香子
 静孝清 五郎 道忠 夕典
 保和藤 和和 田山 藤
 安三三 佐三三 藤成 村佐
 (敬称略)

100万円は商品券で

セーフティ300事業で見事100万円の栄冠に輝いた本町納税組合Aチームに3月7日100万円分の商品券が贈られました。

贈呈式には村山夕香子さん、三和孝治さんが出席。「安全運転に心がけ、無事故・無違反を継続したい」と笑顔で話していました。



セーフティ300事業達成チーム抽選結果

●参加者総数 918人 ●無事故・無違反達成 32チーム

★1回目抽選会 (達成32チームから10チーム選定)

道の駅十三湖高原チーム	(代表 八木澤 泉)
本町納税組合Aチーム	(代表 安保 静雄)
洗磯崎神社氏子青年会Aチーム	(代表 山田 敏昭)
津軽スポーツ工業(A)チーム	(代表 葛西 真理子)
ヤマカチチーム	(代表 相坂 利雄)
ゴールドクラブチーム	(代表 三和 有敏)
笹山木材チーム	(代表 笹山 善和)
若松チーム	(代表 小笠原 俊治)
ミス津軽・・・米チーム	(代表 太田 富士子)
いそまつチーム	(代表 藤田 範道)

★2回目抽選会 (5チーム選定)

本町納税組合Aチーム	(代表 安保 静雄)
②ヤマカチチーム	(代表 相坂 利雄)
③若松チーム	(代表 小笠原 俊治)
④洗磯崎神社氏子青年会Aチーム	(代表 山田 敏昭)
⑤ミス津軽・・・米チーム	(代表 太田 富士子)

※○数字は順位

★最終抽選会 (1チーム選定)

本町納税組合Aチーム (代表 安保 静雄)

これからも無事故・無違反を続けるため気を引き締めていきます」と笑顔で喜んでいました。

今年で三回目となる同事業は、

九十チーム、九百十八人が登録して行われ、その結果無事故・無違反達成は三十二チームとなり、達成率は三五・六%でした。

市浦村交通安全セーフティ300事業無事故・無違反達成チーム

●期間：平成13年4月6日～平成14年1月30日

※太字は代表者

チーム名	構成メンバー	チーム名	構成メンバー
ゴールドクラブ 男9人 女1人 計10人	三和敏・木津谷三春 三和孝幸・秋田谷三克 秋田谷美智子・秦上功 三岩浦國明・三和茂	十三美人倶楽部A級チーム 男0人 女10人 計10人	中島竹子・相川てつ子 豊島七ツ松橋智恵子 相坂美世子・白川久子 奈良良ふみ子・浜中郁春 秋田谷登志子
相内木材(株) 男7人 女3人 計10人	島津護・島津由紀子 島津留美子・三野清一志 佐藤健一・三宮和忠義 大澤由勝・三宮宮造 武田裕幸・宮本美好	亥 男5人 女5人 計10人	奈良源悦・奈良ケエ 沢田京一・秋田谷勇男 秋田谷節三子・三奈正 三奈良初江・木村てる
津軽スポーツ工業(株)A 男0人 女10人 計10人	葛西真理子・秋田谷やえ子 三浦栄子・猿賀照文子 米谷節真知子・奈石和子 三佐藤智明・石川久子	下脇元町内会B組 男3人 女9人 計12人	川内勇一・台丸谷正義 葛西郁雄・工成高橋 石岡桜子・高石橋 川引美代子・石成岡 横山京明子・成田涼
津軽スポーツ工業(株)B 男2人 女8人 計10人	村元悦子・三和早苗 三和田幸子・吉田節子 吉田明子・鈴木佐子 角田八重子・佐藤白子 越野智也	笹山木材 男7人 女3人 計10人	笹山善和・笹山山博康 山山博美・笹山山カ 成田恵一・成田山文 成田玉栄・成田正晴
ゆっくり走ろう青森県 男0人 女10人 計10人	柏谷祐美子・三和つぎ子 三浦みや子・岡雪子 三谷真智子・三和敬子 柏谷たみ子・秋田谷催子 吉田桂子・神嶋ひで子	ミス津軽…米 男0人 女10人 計10人	太田富士子・安田信子 中野明子・小桐京子 岩間紀弘子・下山奈 岩藤いく子・安山保サツミ
太田やまびこ会B 男0人 女10人 計10人	工藤富子・奈良良恵子 奈古百合子・奈良七重子 古川美穂子・美奈靖子 土岐松美子・奈良美智子 青山路子	道の駅十三湖高原 男4人 女6人 計10人	八木澤泉・八木澤康 八木澤淳・秋田谷龍 安田加奈子・浜田内り 竹谷洋子・石岡守 山内つ石岡洋子
市浦村商工会女性部 男0人 女12人 計12人	笹山初子・秋田谷詔子 安和子・安保伊美子 稲川つ子・成田洋子 白川良洋子・山田さ 奈藤恵子・佐藤トミエ	青森ひば 男7人 女3人 計10人	浜田ヤサシ・浜田豊春 藤本則子・繁哉・湯中 相川雅喜美子
壮青年団A 男8人 女2人 計10人	中井育二・亀田秀幸 相坂洋子・豊島好朗 中井慎二・豊島好一 中本明雄・梶浦白一	洗磯崎神社氏子青年会A 男10人 女0人 計10人	山田敏昭・葛川西武 成中山英直・治之・内渡内 成田直之・豊博・西西 竹谷田谷博松
壮青年団B 男8人 女3人 計11人	有馬真・上野清人 白川松江・豊島金一 豊島義一・松橋茂 岩館美智也・新中春 新若美代子・中彦彦	役場ガンバB 男9人 女1人 計10人	鎌田和廣・山本田勝 竹谷裕治・本庄裕 武寺田義光・柏谷清 古川谷武徹・竹川秀

セーフティ300事業を終えて

津軽スポーツ工業株Bチーム

代表 村元悦子

会社の仲間とチームを結成し、セーフティ300事業に参加して三年、「今年こそは百万円獲得を合言葉に日々安全運転を心がけて参りました。今回からチームの代表者が抽選することになり、責任重大で胸がドキドキしました。抽選では十チームには残ったのですが、夢かなわず残念！。この三年間安全運転の大切さを十分教えられました。これからも気を緩めず、家族のため自分のため、安全運転に務めていきたいです。

「二等に当選」した瞬間は「ヤッター」と思わずガッツポーズができました。十人のメンバーが無事故・無違反に思いを一つにし、頑張り勝ち取った喜びです。抽選会場の壇上で十人の幸せな思いを自分ひとりで味わってしまいました。メンバー全員がこの思いを今後も持ち続け、「事故を起こさず・事故に遭わず・安全運転」を誓い合いました。参加者全員に「感謝」。

本町納税組合Aチーム

代表 安保静雄

三回目のセーフティ300事業に町内会の納税組合のメンバーで登録し、無事三百日間無事故・無違反を達成することができました。

抽選会では、「百万円は我がチームに」という強気な気持ちで臨んだのが良かったみたいで、

これが最初からの約束だそうです。なんともバカくさいような話であります。また、もっと驚いたことは参加した九十チーム中、無事故無違反を達成したチームが三十二チームということでした。セーフティ率三割五分弱です。なんとも情けなくやりきれない気分になったのは私一人だけでしょうか。さらに役場職員と村議会チームを合わせて八チームがエントリー。その中でセーフティチームは二チームだそうです。野球にたとえれば打率二割五分。村内のベスト集団としての役場チームにして「この体たらく」。これもまた、何だか情けない話であります。

ヤマカチチーム

代表 相坂利雄

セーフティ300事業に十一人の仲間と参加して、めでたく無事故・無違反を達成。二月十七日の抽選会に出席してクジを引き第二位ということになりました。通常第二位という成績は賞品をたくさんもらって意気揚々と引き上げることになるわけですが、この抽選会は違ってました。一位のチームだけは賞金大枚百万円也。二位以下は賞品で賞金・賞品ゼロで、餡玉一つもな

し。これが最初からの約束だそうです。なんともバカくさいような話であります。また、もっと驚いたことは参加した九十チーム中、無事故無違反を達成したチームが三十二チームということでした。セーフティ率三割五分弱です。なんとも情けなくやりきれない気分になったのは私一人だけでしょうか。さらに役場職員と村議会チームを合わせて八チームがエントリー。その中でセーフティチームは二チームだそうです。野球にたとえれば打率二割五分。村内のベスト集団としての役場チームにして「この体たらく」。これもまた、何だか情けない話であります。

亥チーム

代表 奈良源悦

三回目のセーフティ300事業が終了しましたが、これからは、この運動を村民が主体性をもって、懸賞金に充てる財源を含めて、継続していくよう取り組むべきだと考えます。

これまでの三年間、厳しい財政状況の中で村民にこの運動を根付かせてくれた村当局に心から感謝します。当然のことながら、ドライバ

ーの私たちは家族はもちろん、知人・友人に心配をかけないよう、そして事故などで気の毒な思いのする人を村内から出さない運動として、将来に向かって取り組み、ぜひ成功させたいものです。みんながんばりましょう。

ハニホーへニハーチーム

代表 相馬柳子

うちのチームは、ほとんどが会社の仲間ばかりです。だから当然一日の大半がミキサー車を運転しているという状況の人ばかりなのです。

前回、前々回と惜しくも違反者がいて、「んだねなあ。やつぱりなあ」と仲間が言っていました。ところが今回は、違反者がゼロという事。驚きました。

抽選会では、惜しくもツキが回って来なかったため賞金は手にすることができませんでしたが、あらためて常にシートベルト着用、チームワーク、ゆずり合う、ということを学んだ気がします。

ハニホーへニハーチームは、大型車に乗っているため、少しの気の緩みで一歩間違えると大事故を起こしかねません。ですからこのセーフティ300事業が終

了しても、常に今の気持ちを忘れず、気を引きしめて仕事に精進したいものです。

下脇元町内会Bチーム

代表 川内勇一

セーフティ300事業について、一言述べさせていただきます。このセーフティ300事業は交通事故防止には大変効果があると考えております。

しかしながら、今日の国及び地方自治体等の財政事情の悪化を考えると、あえて行政に委ねるべきではないと思っております。

これからも無事故・無違反を続けて行きます。



▲100万円の抽選を見守る参加者のみささん



しーらんど海遊館 元気海クラブ ご入会キャンペーン

4月1日～5月31日



期間中新規に入会された方にはもれなく次の2点をプレゼント

①ゴールドウィン オーダー水着割引券

大人気のセミオーダータイプの水中運動用水着です。サイズ・スタイル色、全てお客さまのお好みに合わせてお作りいただけます。

- ★女性用 定価11,000円(税別) → 9,800円(税込)
- ★男性用 定価 5,200円(税別) → 4,600円(税込)

※サイズやスタイルによってお値段が変わる場合もございます。

②しーらんど海遊館割引券 (2枚)

入館料半額、もしくはアルゴバック(海藻を用いた全身バック)やバンジェバス(数百のジェットの水圧と気泡による全身のマッサージ)などのオプショントリートメント3割引、どちらかにお使いいただけます。

会員システム

会員種別	会員期間	会 費
個人A会員	1年間	20,000円
	※1回のご利用に500円必要です	
個人B会員	1ヶ月間	5,000円
個人C会員	1年間	50,000円
個人6会員	6ヶ月間	25,000円
夫婦A会員	1年間	90,000円
夫婦B会員	1ヶ月間	9,000円
夫婦6会員	6ヶ月間	45,000円

会員特典

◎運動プログラム無料!

毎日行われている運動プログラムに無料でご参加いただけます。身体が硬くてあちこち痛い、体力が低くてちよつとしたことで疲れるなど、ご自分の体調に合わせてご参加いただくことで、さらに効果が出やすくなります。

◎年に2度の健康測定!

年に2回行われる健康測定にご参加いただけます。ご自分の体力、身体的能力を知ること、この先何をするべきかが分かりますし、続けて行うことで、効果が出たかどうかとも目で見て分かります。

◎トレーニングルーム無料!

トレーニングルーム使用が無料

子供会員スタート

皆さんのお子さん、お孫さんにも生活習慣病の魔の手は迫ってきます。現在、中学生以下の成人病が増加しています。特に子供の生活習慣病は、運動不足が大きな原因といわれています。

海遊館で楽しく自然に運動不足を解消し、病気知らずの強い子になりましょう!!

会員種別	会員期間	会 費
子供A会員	2ヶ月間	5,000円
子供B会員	6ヶ月間	12,500円
子供C会員	1年間	25,000円

- ★保護者の方が会員の場合のみ入会を認めます。
- ★運動プログラムには参加できません。
- ★対象年齢：4歳～小学6年生まで。中学生以上は大人会員となります。
- ★お子様のみのご利用はできません。



子どもの育つ環境創りを考える

180人が参加して生涯学習推進大会

二月二十四日、「村民憲章の具現化を目指した生涯学習のまちづくりを推進しよう」と第五回市浦村生涯学習推進大会が村民約一八〇人が参加して開かれました。

開会セレモニーでは、参加者全員で村民憲章を唱和したあと、

平成十三年市浦村スポーツ賞の授与が行われ、梶浦武也さん（十三）と工藤恵理さん（五所川原商業高校三年）にはスポーツ賞、秋田谷正人さん（相内）と湊裕美（相内）さんにはスポーツ奨励賞が贈られ、賞状と記念品を手に入れました。このあと、木村教育長が主催者を代表してあいさつし、高松村長がお祝いのことを述べました。

続いて「地域ぐるみで子どもの育つ環境づくりを考えよう」と全体会が開かれ、教育委員会職員が「学校完全週五日制に対応した学校外活動への取り組み」と題して話題提供を行い、その



▲平成十三年市浦村スポーツ賞受賞者。左から湊さん、秋田谷さん、工藤さん、梶浦さん。

「十三の砂山」大盛況におわる

3月10日(日)、わらび座の丸山有子さん（中里町出身）による一人芝居「十三の砂山」が、コミュニティセンターにおいて公演され、大盛況のうちに幕を閉じました。

昨年末、わらび座より津軽地域で公演したいと、話を持ちかけられ、村では各種団体、文化サークルの方を中心に実行委員会（斎藤恵美子実行委員長）を組織。チケット販売やポスター張り、会場の設営など実行委員の方は大変苦勞されましたが、たくさんの方の来場者で公演は無事終了。出演した丸山さんも「舞台と観客がこんなに近かったのは久しぶり大変気持ち良かった」と話されていました。



右上／丸山有子さん（中里町出身）の熱演。
左上／会場は330人の人出でびり埋まる。
左下／握手会にもたが丸山さんが左



▲関心の高さをうかがわせた生涯学習推進大会

後、映画「学び座」を観賞しました。

最後の意見交換会では、参加者から「学校週五日制の中で、家庭でのしつけというものをもっと大事にしてほしい」「地域の明るい環境づくりはあいさつから」などと意見がだされ、また、アンケートをとったところ、「映画の題材が非常に良かった」「毎年参加しているが、村の人たちが集まるこのような場をどんどんつくってほしい。大変勉強になる」など、参加者にとって生涯学習に対する意識を高める大会となりました。

- 湊 裕美（相内）右に同。四〇〇m、二〇〇mの選手として出場。
- 秋田谷正人（相内）金木高市浦分校陸上部員として、全国高校定通制陸上大会に一〇〇m、走り幅跳びの選手として出場。
- ▼ スポーツ奨励賞
- 工藤 理恵（十三）五商高バレー部員として県高校総合体育大会優勝など。
- 梶浦 武也（十三）県民体育大会陸上競技一〇〇m優勝。
- ▼ スポーツ賞
- 〔平成十三年市浦村スポーツ賞〕

始まります 完全学校週5日制

4月から、毎週土曜日を休みとする「完全学校週5日制」が全国すべての学校で始まります。子どもたちの学校外での時間が増え、家庭や地域での教育の機会がこれまで以上に重要になります。学校の授業も、ゆとりの中で、子どもたち一人ひとりの「生きる力」を育てるために、教育の内容が変わります。

？ **なぜ、完全学校週5日制になるの？**
子どもたちの「生きる力」を育てるために

完全学校週5日制で、毎週土曜日が休日に！休みの日は、家庭や地域で学校の授業とは全然違うことを体験したり、自分の好きなことを思い切りしたりする絶好のチャンス。隔週土曜日休みの現在でも、ほとんどの子どもたちが、土曜日休みを有意義で楽しいと感じているようです。

「休日が増えたら勉強の時間が減って、子どもたちの学力が

新学習指導要領のポイント

- ①豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成する
- ②自ら学び、自ら考える力を育成する
- ③ゆとりのある教育活動を展開する中で、基礎・基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育を充実する
- ④各学校が創意工夫を生かし、特色ある教育、特色ある学校づくりを進める

完全学校週5日制になって、土曜日の休みが増えた分、学校での授業時間は減りますが、授業の内容はどうなるのでしょうか。

？ **学校の授業はどう変わるの？**
新しい学習指導要領が目指すもの

落ちてしまうのでは」と心配する人たちもいますが、子どもたちの学びの時間は年中無休です。学校での授業だけでなく、家庭や地域で過ごす時間も、子どもたちはそこでの活動や体験を通して、さまざまなことを学んで

います。完全学校週5日制は、子どもたちが豊かな体験によって豊かな心を育めるよう、家庭や地域でのさまざまな体験活動などの機会をもっと増やしていこうというものです。そして、学校、家庭、地域社会が互いに協力し、一人ひとりの子どもたちに「生きる力」を育むことをねらいとしています。

文部科学省が学校・学年ごとに教えるべき内容を定めた「学習指導要領」も、完全学校週5日制に併せて改訂されています。新しい学習指導要領では、ゆとりの中で、子どもたちに「生きる力」を育成することを基本的なねらいとし、四つのポイントを重視した教育内容に変わります。

◆**授業時数** 完全学校週5日制で教育を行うため、授業時数は、これまでより週当たり二単位時間少なくなります。

◆**教育内容** すべての子どもが共通に学ぶ内容は、社会生活を営むうえで必要とされる基

生きる力とは

- 子どもが自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力
- 自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性とたくましく生きるための健康と体力

礎的・基本的な内容に厳選するとともに、子ども一人ひとりが興味・関心等に応じて選択できる幅を拡大しました。これにより、子どもたちがゆとりの中でじっくり学習し、基礎・基本を身につけることができるようになります。

◆**総合的な学習の時間」の新設**
子どもたちが社会の変化に対応し、たくましく生きていくためには、教科等で学んだ知識を用いて自ら課題を発見し、自ら学び、自ら考える力が必要です。そうした力を育むために、体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、「総合的な学習の時間」を新設します。総合的な学習の時間では、各学校が創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開します。

議会報告

平成十四年度市浦村議会第一回定例会は、三月七日から十四日まで開かれ、次ぎのことが審議されました。

◎予算関係

平成十四年度市浦村一般会計予算ほか七件

◎補正予算関係

平成十三年度市浦村一般会計補正予算（第七号）ほか七件

追加された主な事業

- ・健康増進施設運営負担金 千九百九十九万三千元
- ・BSE対策事業補助金 八百三万九千元
- ・EM活性化液製造、培養事業

- ・地積調査用パソコン購入事業 四百八十一万九千元
- ・財政調整基金積立金 千六百八十万五千元

◎人事案件

市浦村収入役 山田勝明氏再任

監査委員 坂井 精氏再任

協元財産区管理会委員 山田正伸氏新任

◎条例関係

市浦村電子計算処理に関する個人情報保護に関する条例の一部改正ほか十四件

◎規約関係

青森県市町村職員退職手当等組合規約の一部変更

◎報告関係

市浦村事務概要報告ほか一件

◎認定

- ・村道路線の認定について
- ◎意見書 二件
- ◎一般質問

三和孝治議員、三和均議員、葛西敬太郎議員、福井俊美議員の四氏が行い、次のことを質問いたしました。

▼三和孝治議員

- ①市町村合併問題について
- ②学校完全週五日制に伴う教育改革と地域社会の連携について

③職員の補充について

市浦村職員の給与について

▼三和 均議員

- ①除雪作業について
- ②公設民営の津軽テクノカについて
- ③相内地区の墓地分譲について
- ④脇元・磯松地区の基盤整備事業について
- ⑤相内地区の河川改修について
- ⑥農業関係の各種助成事業について
- ⑦農協推せん農業委員について
- ⑧西北五環境整備事務組合のゴミ処理施設について
- ⑨健康増進施設について
- ⑩教育問題について

▼葛西敬太郎議員

市浦小学校の学校経営と環境について

▼福井俊美議員

- ①市町村合併問題について
- ②納税問題について
- ③国民健康保険税と高額医療費について

収入役に山田勝明氏が再任

平成十四年村議会第一回定例会において、村収入役に再任されました。



山田 勝明氏

山田勝明氏（七十四歳）が再任されました。

山田氏は、村総務課長、教育次長を務めたほか、昭和四十八年から約十年間にわたり収入役。

その後平成六年に現職に選任され、今回で通算五期目の就任となります。

春の火災予防運動

消防・ネットワーク

火事と救急・救助は一一九番

市浦村では、平成十四年二月十九日で建物無火災三〇〇日を達成しました。

これからも、火災のない明るい村を目指し、消防職員一同火災予防に一層頑張つてまいりますのでよろしくお願ひします。

空気が乾燥し火災が発生しやすい時季になりました。日ごろから「火災予防」を心がけている住民の皆様にも、より一層の「火災予防思想」の普及を図り火災の発生を防止し、死傷事故や財産損失を未然に防ぐことを目的に、今年も春の火災予防運動が行われます。

期間は四月八日(月)から十四日(日)までの七日間です。期間中は次のことを重点目標とし推進してまいりますのでご理解とご協力を願ひします。

★**住宅火災** 住宅火災は、財産だけでなく貴重な生命も一瞬にして失ってしまいます。特に近年は、高齢者が犠牲となる住宅火災が全国的に多発しています。

①寝タバコは絶対やめる。

②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。

③ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

この三点を習慣づけましょう。

★**放火火災予防** 昨年は弘前市の武富士放火殺人事件のような悲惨な事件が起きました。このような事件が二度と起らないよう地域で放火されない環境づくりをしていきましょう。

★**消火器事故防止** 消火器の寿命は約八年です。古くなった消火器は、破裂の危険がありますので最寄りの消火器業者に処分してもらいましょう。

★**林野火災予防** 林野周辺や住宅付近の火入れは極力避けてくださるようお願いいたします。また、火入れに際しては消防署に届出が必要ですのでよろしくお願ひします。

統一標語

たしかめて 火を消してから 次の一歩

精神障害者保健福祉手帳などの申請・相談の受付窓口の変更について

平成14年4月1日から以下の受付窓口が保健所から居住する市町村に変わります。

- ①精神障害者保健福祉手帳の申請・交付
- ②精神障害者通院医療費公費負担の申請
- ③精神障害者社会復帰施設やその他の在宅福祉サービスの利用に関する相談

※詳しくは、役場または五所川原保健所にお問い合わせください。

▶お問い合わせ先
 役場・住民福祉課 ☎62-2111
 五所川原保健所 ☎34-2108

善意に感謝します

三月十二日、株式会社トーサム（八木澤淳社長）では、「社会福祉に役立てて」と村に三百万円を寄付しました。この日は、八木沢社長、山内守栄専務が村長室を訪れ、高松村長に八木澤社長から目録が手渡されました。村では、社会福祉事業へ活用することにし



ています。
 ありがとうございます。

公立金木病院診療日のお知らせ

●平成14年4月より（○印は診療日）

診療科	月	火	水	木	金	土	受付時間
内科							午前8時30分から 午前11時30分まで
外科							
小児科							
産婦人科		○				○	
皮膚科	○				○		
整形外科	○		○	○	○	○	午前8時30分から 午前11時まで
眼科	○				○		

※産婦人科から眼科については、都合により休診となる場合がありますのでご確認ください。また、第2・第4土曜日は休診です。

第10回クレジット・サラ金110番

クレサラ問題(借金)に悩む人たちの相談に無料で応じます。

- ◆実施日時 平成14年5月25日(土)
午前10時から午後4時まで
- ◆受付電話番号 017-776-9009
- ◆実施場所 青森市長島3丁目5番16号
青森県司法書士会館2階
- ◆相談料 無料
- ◆主催 青森県青年司法書士会
- ◆連絡責任者
〒037-0061 青森県五所川原市鎌谷町502番地16
司法書士 佐藤和代
TEL 0173-34-3579・FAX 34-3638

国民年金コーナー

四月は保険料の最終納付月です

平成十三年度（平成十三年四月から平成十四年三月）分の保険料の納め忘れはありませんか。四月は、平成十三年度分の保険料を市町村の指定金融機関等で納めることのできる最後の月です。

保険料を納め忘れのままにしておくと、将来受ける老齢基礎年金が減額されたり、万一のときの障害基礎年金や遺族年金が受けられなくなることもありま

す。納め忘れの保険料はかならず四月中に納めましょう。

平成13年度 宝くじ助成金で小馬踊り用品一式を購入

平成13年度宝くじ助成金で、脇元・小馬踊り用品一式を購入しました。今後脇元地区で行われる小馬踊りで、活用されます。



保険料は前納できます

国民年金の保険料を一年分、まとめて納めると保険料が割引きされることをご存知ですか。これを「前納制度」といいます。この制度を利用すれば毎月納める手間が省け、納め忘れの心配もありません。

平成14年度 国民年金保険料

- 毎月納付した場合
13,300×12月＝159,600円
 - 前納した場合
156,770円
- 2,830円お得

※前納については、四月中に手続して下さい。



市浦村の人口と世帯数 平成14.2.1現在

大字名	前月人口	人口	世帯数
相内	1,188	1,191	412
桂川	61	61	22
太田	254	250	83
脇元	519	522	203
磯松	301	300	107
十三	779	777	258
計	3,098	3,101	1,085

平成14年度 県民まごころケア 講座受講者募集のお知らせ

青森県介護実習・普及センターでは平成14年度のまごころケア講座受講者を募集しています。

看護・介護に関する知識や技術を学び思いやりのある家庭づくり・地域づくりに役立ててみませんか。

【家族介護講座】(時間午前10時～12時)

- 5月21日(火)「高齢者への接し方と介護」
- 5月30日(木)「高齢者の口腔ケアと食事の工夫」
※13時終了
- 6月4日(火)「床ずれの予防と福祉用具の選び方」
- 7月10日(水)「身体の清潔の実際」
- 7月17日(水)「排泄ケアの実際」
- 7月23日(火)「移乗の実際と介護者の腰痛予防」

◆対象及び定員

一般県民 30名(定員になり次第締め切ります)

【介護体験講座】

◆開催日 随時(事前にお申し込みください。)

◆対象者 児童・生徒・学生・一般

◆定員 個人、グループで20人くらい

◆内容 「高齢者疑似体験」・「家庭介護実習」
「福祉用具体験」

◆時間 1講座2時間

◆会場 県民福祉プラザ(青森市中央3-20-30)

◆受講料 いずれの講座も無料

※動きやすい服装でおいでください。

▶お問い合わせ先

県民福祉プラザ3階

「青森県介護実習・普及センター」

☎017-774-3234

※なお、各地で「介護体験講座」をお受けになりたい方は、最寄りの保健所へお問い合わせください。

事業主の皆様へ

労働保険の申告・納付はお済みですか？

平成13年度確定保険料・平成14年度概算保険料の申告の時期となりました。

保険料申告書の提出及び保険料の納付期限は5月20日です。お早めにお近くの銀行、郵便局等で手続きしてください。

なお、申告・納付が同時にできないときには、黒刷りの申告書は最寄りの労働基準監督署または青森労働局へ、ふじ色刷りの申告書は青森労働局へそれぞれ提出し、納付についてご相談ください。

▶お問い合わせ先 青森労働局 労働保険徴収室
☎017-734-4145

（株）みなみ友の会のお買物券をお持ちの方
友の会の積立をしていた方へのお知らせ

◆経過

(株)みなみ友の会(青森市)が、親会社の自己破産に伴い平成14年1月11日営業を廃止したことから、同友の会発行の「お買物券」が使用できなくなっており、また、同友の会の「積立金」が返金されなくなっております。

◆還付

「お買物券」や「積立金」は割賦販売法に基づく営業保証金および前受業務保証金から還付を受けることができます。

◆手続き

還付を希望される方は平成14年4月24日(水)まで下記あてに申出を行ってください。

▶申出・お問い合わせ先

東北経済産業局流通消費課

☎022-263-1111(内線5171・5172)

県内の交通事故概況

青森県交通対策協議会

	1月中	年累計	死者の 状態	シートベルト	
				着用していれば助 かったと思われる人	着用していれば助 かっただと思われる人
発生	701件 (850)	701件 (850)	死者	飲酒運転による死者	2 (3)
				高齢者の死者 ~65歳以上の人~	4 (5)
死者	7人 (8)	7人 (8)	死者	自動車乗車中の死者	4 (1)
				非着用死者	2 (1)
傷者	894人 (1,063)	894人 (1,063)		着用していれば助 かっただと思われる人	2 (0)

()内は前年。累計は1月から。

東北電力からのお願い

カラスの巣づくりの時期になりました。電柱等に巣づくりしている場合は停電の原因になりかねません。

見かけましたら下記事業所へ連絡をお願い致します。

▶お問い合わせ先

東北電力(株)五所川原営業所 ☎35-2151



No.152

泌尿器の病気

前立腺がんについて

尿は成人であれば一日一・二〜一・五リットル排泄され、黄色〜黄褐色をしています。普段から自分の尿の状態(色、におい、量、にごり)をチェックすることを心がけましょう。

次に腎臓におこる病気で最近注目されている病気について紹介します。

前立腺がん

前立腺は男性にしかない臓器

DATA 尿の色・量から疑われる病気

血尿	腎炎・尿管結石・膀胱腫瘍 腎臓がん・膀胱炎
白い小片が混ざっている	腎盂腎炎・腎腫瘍・膀胱炎
濃い黄色	肝臓病
頻尿	膀胱炎・尿道炎・尿管症 慢性腎不全
欠尿	急性腎炎・心不全 ネフローゼ症候群
尿がでにくい	膀胱結石・尿管結石 膀胱炎・前立腺肥大症

膀胱の下の方にあるクルミ位の大きさの臓器で前立腺液(精液の成分)を分泌しています。前立腺は年をとるにしたがつて機能が衰え、五十歳を過ぎたあたりから前立腺肥大症が出現しやすくなります。また、前立腺がんも急増してきます。欧米では男性のがんで一番多いのが前立腺がん(約四十三%)で、日本でも最近、三十年前と比べて七倍も増加している病気です。原因は食生活の欧米化と高齢化といわれています。症状は尿の出が悪くなる、頻尿、残尿感、排尿に時間がかかるなどです。治療としては、前立腺を摘出する手術療法、放射線療法やホルモン療法などがあります。

前立腺がんは早期発見、治療ができれば治る可能性が高いといわれています。ですから、前述したとおり、普段から尿の状態をチェックすることを心がけ、少しでもおかしいな、と思うことがあったら自己判断せずに早めに医療機関を受診することをお勧めします。



お誕生

- 秋田谷 陸斗(相内) 和智
- 三和 麟太郎(相内) 豊明
- 笹山 陽(脇元) 善和
- 相馬 まひろ(十三) 孝雄

ご結婚

- 小田桐 浩樹(相内)
- 赤上 和子(茨城)
- 佐藤 敦浩(弘前)
- 鳴海 加代子(相内)
- 中井 環(十三)
- 姜 連玉(韓国)
- 三上 希世伸(脇元)
- 青木 淑江(埼玉)
- 松本 洋平(富山)
- 鳴海 紀子(相内)
- 服部 一樹(大阪)
- 安部 寛子(相内)
- 萬谷 情二(脇元)
- 中藤 貴子(埼玉)

おくやみ

- 古川 芳吉(太田) 86歳
- 小山内 正子(十三) 61歳
- 古川 ひさ子(脇元) 62歳
- 木村 文彦(桂川) 48歳
- 岡本 豊治(相内) 52歳

お詫びと訂正

広報しづら二月号十ページ戸籍の窓「お誕生」欄で氏名のふりがなに誤りがありましたのでお詫びして訂正します。

- 佐藤 彌人(相内) 勝幸
- 佐藤 彌人(相内) 勝幸

あとかき

春の使者といえ、色々思い浮かぶと思いますが、今年の春の使者は、少し厄介なものだったのでは...

中国からの西風に乗って空を黄色に染めながら飛来する「黄砂」。日本までの距離約三千里、四千里を四日位で飛来するそう、今年の黄砂は、観測史上最大だったという報道も。雨に混じった黄砂が泥雨ともいえる状態で降り、雨が降り止むと、乾いた黄砂が車を砂化粧。爽やかな春風は歓迎するが、今年の黄砂にはうんざり...